

第14号

市小公連だより



筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3
 ■発行責任者 会長 三宅 俊明 生涯学習センター内 ☎092-918-3535

【役員のことば】



副会長
井上 國次

市小公連としては、公民館活動を充実し、社会教育の振興を図るため、住民一人ひとりがお互いを尊重し、住みよい地域づくりや人づくりを目指すことを平成29年度の基本方針にしています。地域コミュニティまちづくりが推進されるなかで、まちづくりの力となり、より良いまちづくりを構築するためには、各地区コミュニティ運営協議会と各地区小公連との連携が必要不可欠であることから、平成29年度の重点事業と位置づけ、検討委員会を設立し、協議を進めています。

また、9月に開催した推進大会では、「地域の特性を生かし、公民館活動の更なる活性化を推進する」ため、一、人材育成、公民館の相互交流等を通じての公民館の活性化。二、家庭・学校・地域コミュニティ等の連携。三、情報の発信と共有化の推進。四、災害の対応として防災意識と自主防災力の向上。四点を目的とし、継続的かつ積極的に活動する旨の大会宣言を行いました。

市小公連の活動報告

福岡県公民館大会

第62回大会テーマ 8月10日(木)

「公民館が核となった人づくり・まちづくりの可能性を求めて」
 福岡県公民館大会に約千人が参加して、サザンクス筑後で行われた。

第一部講演 天野 和彦先生
 講師 福岡大学つくしまふくしま未来支援センター特任教授

『この時代が公民館に求めていること』と持続可能なふるさとをつくるために、と云うテーマで講演がありました。地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。第二部インタビュー・ダイアログでは、「持続可能な地域づくり・人づくりに向けた公民館の可能性?」について三地区の活動報告がされました。年間の行事をこなしていくだけで大変であるが、今後、公民館等の活動を一層充実させていく為に、諦めず担い手の人材育成に努力したいと思いました。

若葉中原公民館長 神代 敏道



サザンクス筑後 (参加者: 17名)

第68回

九州地区公民館研究大会

大分大会 (総合文化センター他)

I 分科会：豊かな地域づくりを担う自治公民館活動の在り方

- ①佐賀県武雄町永島区 (自治公民館)：転入者が多い地区で、公民館を通じた地域づくりをされている地区です。大先輩から教えて頂いた浮立保存会を若手メンバーが継承され、通学合宿等で子どもたちに伝統を引き継がれているな一と感じました。自治会も全員が参加されて自治会費も100%とすごい公民館があるな一と感じました。
- ②大分市川添公民館 (校区公民館)：「公民館お助けDAY」の活動による子どもの居場所づくりで目の前にある小学校から毎週水曜日放課後に30分間自主的に来て館内清掃とか、公民館で使用するテキスト作りをしてくれるそうです。子どもたちは公民館活動で人の役に立つことを実感され、地域の交流にも参加され絆ができていますと感じました。

II 記念講演：講師 矢野 大和 氏

(おおいた観光特使・宇目町鷹鳥屋神社宮司)

演題「笑って元気 豊かな人間関係を築く公民館活動とは」
 講話が面白く常に爆笑のうずでした。あっという間に時間が経過しました。筑紫野市での記念講演会にお招きしたいなと感じました。

美しが丘北公民館長 鍋嶋 明



8月24日(木)~25日(金) (参加者: 18名)

平成29年度第43回市小公連推進大会

大会テーマ 「公民館を拠点とするひとづくり・まちづくり」(参加者:236名)
 ～ 公民館とコミュニティの連携～ 9月30日(土) さんあいホール



開会行事の後、佐賀大学教職大学院教授 上野景三氏による基調講演が「ひとづくり・まちづくり・公民館とコミュニティの連携」のテーマで行われました。人生100年の超高齢化時代の到来を踏まえて、経済、産業構造、雇用、家族構成等様々な観点からの課題とその解決の手法について述べられるとともに、現在課題となっている「公民館とコミュニティの連携」についても如何にして組織に魂を入れていくかについて詳しい説明がありました。次に、研修会では、3公民館が発表した後、コーディネーター岩元馨子氏(福岡教育事務所社会教育主事)、コメンテーター 上野景三氏により、インタビューダイアログ方式による討論が行われました。最初に、紫公民館が「公民館のバリアフリー化と活動について」

地域の皆さんの意見を取り入れながら設計・資金面の困難を乗り越えてエレベーター設置等バリアフリー化を実現したこと、次に中阿志岐公民館が、高齢化が進んでいる中、アンケート調査を実施し、できることをすぐに実行するとともに、「おこもり」や「宮座」等伝統の文化を引き継いでいること。最後に、美咲公民館がまちづくりの経緯と20年間続く「宝満カヌー大会」等の行事について発表し、「もやいあう地域文化こそ美咲の財産である」と締めくくられました。地域の実情は、それぞれ異なりますが、いずれの発表も歴史や伝統を受け継ぐものであり、大変すばらしいものでした。

また、ホワイエでは、様々な公民館活動の状況がパネル展示され地域の皆さんが嬉々として諸活動に取り組んでおられる様子を伺い知ることができました。

何と申しましても地域活動の拠点は、小地区公民館です。今回の大会を通して、今後とも地域を活性化させる拠点としての重要性を認識し、安全・安心はもとより、公民館活動の一層の充実・発展を図りたいと思った次第です。

菅 勉(美しが丘南館長)



【大会宣言】

1. 人材育成、公民館の相互交流等を通じて公民館の活性化を図ります。
2. 家庭・学校・地域コミュニティ等との連携を図ります。
各地区小公連は、地域のコミュニティ活動に参画します。
3. 情報の発信と共有化を推進します。
4. 災害への対応として防災意識の向上と自主防災力を高めていきます。



平成29年度 夏祭り



二日市地区

杉塚公民館



石崎公民館



二日市東地区



武蔵公民館



山口地区

萩原公民館



大石公民館

御笠地区



牛島公民館

山家地区公民館



筑紫南地区

西小田公民館



筑紫地区

筑紫公民館



下見公民館



公民館紹介 柚須原公民館

柚須原区は、JR 二日市駅から北西に約 10 ㎞。飯塚市との境界である米の山峠(標高 349m)のある行政区です。公民館は区の中央に位置し、標高 294.6mです。ちなみに天拝山は 257.4mです。自然環境に恵まれ、夏は涼しく、秋は棚田に彼岸花が咲きます。

行政区は 17 世帯、人口 41 人の小集落です。児童はわずか 3 人。65 歳以上の高齢者は 15 人、高齢化率 36.6%。公民館では、行政区の三役や福祉委員などと共同で、地域の伝統行事と文化・福祉事業を開催しています。

主な伝統行事は、五穀豊穰を祈願する 2 月の牛座(おざ)と 5 月・9 月のおこもり、大山祇神社の夏越祭 7 月のおよど、区内で初盆の家庭がある時は 8 月 15 日に盆踊りです。

柚須原区民が一堂に集う公民館事業は、福祉委員と連携して、1 月のほうげんぎょう、4 月の花見・8 月のそうめん流しなどの福祉サロンに敬老会、11 月の人権問題学習地域懇談会、12 月のしめ縄作り、防災訓練や男の料理教室などを行っています。今年度から、本道寺公民館、香園公民館、大石公民館、葉光ヶ丘団地集会所と共同で BG レンジャーに取り組んでいます。

柚須原公民館館長 大野 一憲



しめ縄作り



福祉サロン花見
(公民館敷地内八重桜)

市小地区公民館館長・主事人権研修会

演題「子ども理解について」

～私たち大人にできること～
スクールソーシャルワーカー

安武 大志氏

今年度の人権研修会は、s s w (スクールソーシャルワーカー)の安武大志先生によるスクールソーシャルワーカー等による子どもの権利条約に掲げられた生きる・守られる・育つ・参加する権利を保障することを目的としている。

例えば子どもは不登校に対しては、校内あるいは学校の枠を超えて地域や家庭及び関係機関等との連携をより一層強化し、児童生徒の自立を促す役割を果たすために設置されているとのことでした。私の子供のころは昭和 20 年代で決して裕福ではなかったが大家族で目上の人の暮らしの中で物事の、良い悪いを学んできました。中でも父親や学校の先生は怖くて尊敬できる存在であった事が良かったのだと思います。子供同士で遊ぶときは年齢や男女に関係なく遊ぶことを通じて触れ合う事の大事さを実感していたと思います。私は学校に通うのが嫌いとは思ったことはなく楽しかった記憶が残っています。近年の児童保育は、必要とする家庭があることを前提として始まった取り組みで、家族構成が父母と子供という共稼ぎの世帯も多く、終業後に児童保育などを利用することで親の帰宅に合わせる生活を送っている現状があります。その現状に合わせて、ス



10月18日(水)
(参加者:93名)

クルソーシャルワーカーという初めて知った役割が必要とされている事を実感しました。先生の設問の中に貧乏と貧困の違いはとあり、前者は裕福ではないが暮らしが成り立ち、後者は自助努力では暮らしが成り立たない状態ですとのお話が印象的で、深く考えたことがなかったと思えました。

(生涯学習センターにて)

萩原公民館主事

帆足 順一

